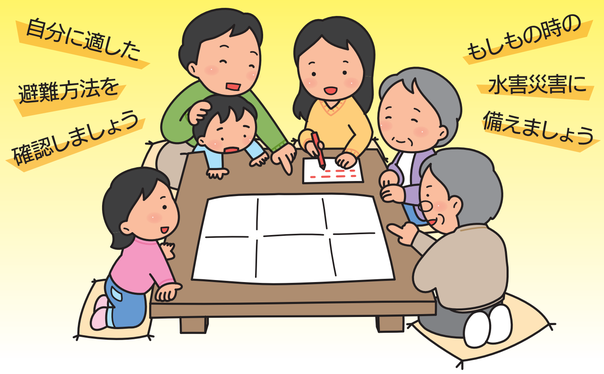
# 洪水 知多市ハザードマップ

CHITA




## わが家の避難場所

| 避難場所 | 家族の集合場所 |
|---|---|
| | |

## 家族の連絡先

| 名前 | 生年月日 | 血液型 | 電話番号 | メモ（職場や近隣の連絡先など） |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

## 非常持出品を用意しましょう！

非常持出品は避難時に持ち出す必要最小限のものを袋などに入れて、玄関などすぐ取り出せる所に保管しておきましょう。

### 非常持出品の例

| 貴重品・医療用品 | 非常食・生活用品 | 防災用品・衣類等 |
|---|---|---|
| □ 現金 | □ 飲料水 | □ 懐中電灯 |
| □ 通帳の写し・印鑑 | □ 乾パンやクラッカー | □ ライター |
| □ 運転免許証の写し | □ レトルト食品、缶詰 | □ 携帯ラジオ |
| □ 健康保険証の写し | □ 固形スープ | □ ヘルメット |
| □ 常備薬の予備 | □ ナイフ、缶切り | □ 簡易（携帯）トイレ |
| □ 緊急医薬品 | □ はし・スプーン | □ カイロ |
| □ ウェットティッシュ | □ ビニール袋 | □ 乾電池 |
| □ 除菌シート | □ 携帯電話の充電器 | □ ペット用品 |
| □ お薬手帳 | □ 生理用品 | □ 上着・下着 |
| □ | □ 紙オムツ | □ 靴下 |
| □ | □ 予備の眼鏡、補聴器 | □ タオル |
| □ | □ | □ 毛布 |
| □ | □ | □ |

| 感染症対策用品 | □ マスク | □ 体温計 | □ 消毒液 | □ |
|---|---|---|---|---|

一週間程度の飲料水や食料などの備蓄品も準備しておきましょう。

### 備蓄品の例

| 食品等 | 生活用品・衣類等 | |
|---|---|---|
| □ 飲料水（1人1日3L） | □ 水タンク | □ 簡易（携帯）トイレ |
| □ アルファ化米 | □ 生活用水 | □ 掃除用具 |
| □ レトルト食品、缶詰 | □ カセットコンロ | □ 抗菌・消臭剤 |
| □ 栄養補助食品 | □ ナイフ、缶切り | □ 毛布 |
| □ 調理用水 | □ ライター | □ 衣類 |
| □ | □ | □ |

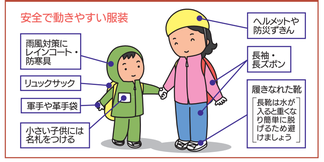
## 事前に危険な場所などを確認しましょう！

自宅周辺の危険箇所
避難先や避難経路

この洪水ハザードマップや既に配布しているハザードマップを確認し、複数の避難経路を家族で相談しましょう。

## 避難時は服装にも配慮しましょう！

安全で動きやすい服装




## 食料や飲料水などを備蓄しておきましょう！

最低でも世帯人数の
3日分以上を備蓄

「非常用持出品」一覧表を参考に必要なものを用意してリュックに入れ、すぐに持ち出せる場所においておきましょう。

ローリング ストック
（家庭内流通備蓄）
しましょう

カップ麺やレトルト食品など日持ちする食品を少し多めに蓄え、消費した分を買い足しながら、効率よく備蓄しましょう。

# 避難行動判定フロー

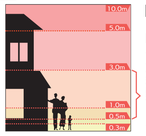
「自らの命は自ら守る」

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう！

自宅がある場所に色が塗られていますか？
- いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報等を参考に必要に応じて避難してください。 → **A** 屋内安全確保
- はい ↓

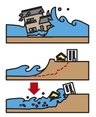
災害の危険があるので、原則として自宅外への避難が必要
- 例外 → 次の 1〜3 が確認できれば、在宅避難（屋内安全確保）が可能 → **A** 屋内安全確保
- はい → ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？
  - はい → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
    - はい → 警戒レベル3までに **B** 安全な親戚・知人宅へ避難
    - いいえ → 警戒レベル3までに **C** 避難施設へ避難
  - いいえ → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
    - はい → 警戒レベル4までに **B** 安全な親戚・知人宅へ避難
    - いいえ → 警戒レベル4までに **C** 避難施設へ避難

**1** 浸水深より高い階へ移動できる




**2** 家屋倒壊等氾濫想定区域（洪水氾濫、河岸侵食）の範囲に該当していない

例 範囲に入っていると…



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

**3** 水が引くまで我慢できる、水・食料などの備えが十分（1週間程度）

十分な備えがない場合、水・食料・薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

### A 屋内安全確保

浸水・土砂災害が発生するおそれの高い区域ではない場合や、上のフローの3つの条件を満たした場合は屋内安全確保が可能です。
※着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

みなさんの行動
- がけや沢から離れた、丈夫で安全な建物の上階へ移動
- 近隣の身の安全を確保可能なマンションやビル等の上階へ移動

### B 安全な親戚・知人宅へ避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
また、事前にハザードマップで親戚・知人宅とその避難経路が安全かどうか確認しておきましょう。

みなさんの行動
- 避難先への持参品を確認
- 避難経路や避難先が安全かを確認
- 遠方の場合は早めに避難を開始

### C 避難施設へ避難

事前にハザードマップで避難施設までの経路を決めておき、安全かどうか確認しておきましょう。
また、感染症対策ができるものを携行しましょう。

みなさんの行動
- 避難先への持参品を確認
- 感染症対策は各自で（マスク・消毒薬・体温計・スリッパ等持参）
- 避難経路や避難先が安全かを確認

### その他 安全なホテル・旅館への立ち退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。
また、事前にハザードマップでホテル・旅館とその避難経路が安全かどうか確認しておきましょう。感染症対策ができるものも携行しましょう。

みなさんの行動
- 事前に予約、確認
- 避難先への持参品を確認
- 感染症対策は各自で（マスク・消毒薬・体温計等持参）
- 避難経路や避難先が安全かを確認
- 遠方の場合は早めに避難を開始

# 警戒レベルとわたしたちの行動

## 警戒レベルとは？

災害発生の危険度と、みなさんの取るべき行動を直感的に理解するための情報です。なお、令和3年より避難勧告は廃止されました。
これからは、警戒レベル3 又は 警戒レベル4 までに危険な場所から必ず避難しましょう！

※市が発令する「高齢者避難」「避難指示」は市が総合的に判断して発令するものであることから、警戒レベルに相当する防災気象情報が出されたとしても発令されないことがあります。

## 洪水から避難するときにはこんなことに気をつけましょう

水が濁って、足元が見えにくくなります。もしフタが外れていると、マンホールや道路側溝などに転落して危険です。

高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。

近年、局地的な大雨や集中豪雨により、各地で大きな被害が発生しています。河川では、上流の大雨による急な増水で、雨が降っていない下流でも事故の発生が心配されます。
屋外での活動には、増水した河川や水路には近づかないなどの注意が必要です。

| 警戒レベル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 雨が降り始める | | | 〈〈〈 警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！ 〉〉〉 | |
| 避難情報等 | 早期注意情報（気象庁発表） | 洪水・大雨・高潮注意報（気象庁発表） | 高齢者等避難（市長が発令） | 避難指示※（市長が発令） | 緊急安全確保（市長が可能な範囲で発令） |
| 状況 | 今後気象状況悪化のおそれ | 気象状況悪化 | 災害のおそれあり | 災害のおそれ高い | 災害発生または切迫 |
| 住民がとるべき行動 | 災害への心構えを高めましょう | 自らの避難行動を確認しましょう | 危険な場所から高齢者や避難に時間のかかる方は避難してください | 危険な場所から全員避難してください | 命の危険 直ちに安全確保！ |
| 防災気象情報 浸水等に関する情報 | — | 洪水注意報 | 洪水警報 | | 大雨特別警報（浸水害） |
| 防災気象情報 土砂災害に関する情報 | — | 大雨注意報（土砂災害） | 大雨警報（土砂災害） | 土砂災害警戒情報 | 大雨特別警報（土砂災害） |
| 防災気象情報 高潮に関する情報 | — | 高潮注意報 | 高潮警報に切り替える可能性を言及する高潮注意報 | 高潮特別警報・高潮警報 | 高潮氾濫発生情報 |
| わたしたちの行動 | 例）自宅周辺の災害リスクの確認・非常用持ち出し品の確認 | | 例）近所の○○さんに声をかける。家族に連絡先を伝える | 例）○○へ避難する | 例）逃げ遅れた場合の、命を守るための行動を記入しましょう |

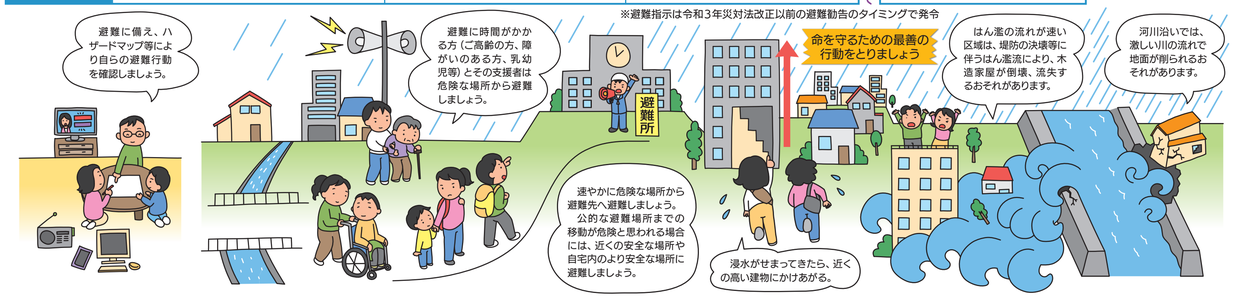
わたしたちの行動：自分たちの行動や準備することを記入してみましょう。

### いつ、なにをする？

避難行動判定フローの結果をもとに、各警戒レベルが発令された際に自分と家族がどう行動するか 記入しておきましょう！

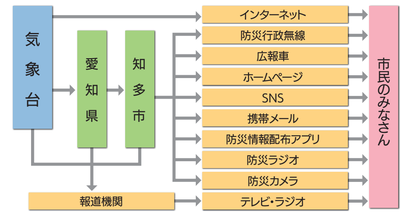
気象庁などから出る
雨の情報や
河川水位の情報
を参考に、自主的に早めの避難を！

※避難指示は令和3年災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令




## 情報の伝達経路

災害に関する情報や、避難情報は次の図のような経路でみなさんに伝達されます。災害発生の危険がある時は、最新情報を確認するようにしましょう。




まずはテレビやラジオ等で気象警報などの情報を入手しましょう。

雨が強くなってきたら、電話（171）やインターネットでも確認しましょう。

## 災害時の情報入手方法

### テレビで調べる

▶ テレビのデータ放送

気象、災害関連情報、知多市の避難情報などを確かめることができます。リモコンのdボタンを押すとデータ放送画面に切り替わり、情報を確認できます。

### ちたまる安全安心メルマガ

▶「ちたまる安全安心メルマガ」の速報メール

携帯電話等のメールアドレスをメルマガに登録すると、風水害や地震に関する情報などの緊急情報が届きます。

https://www.city.chita.lg.jp/docs/2014041600035/

### 広報車・防災行政無線

緊急時には、広報車や防災行政無線で情報を伝達します。

### 知多市防災ラジオ

Jアラートで配信される緊急情報や災害・避難情報などを、83.4MHzの放送を使用し、市民の皆様へお知らせするラジオです。

https://www.city.chita.lg.jp/docs/2018080200010/

### インターネットで調べる

▶ 愛知県ホームページ（防災安全局のページ）

県で発表している緊急情報や災害対応状況、県内の気象情報や避難情報など、県内の情報を確認することができます。

https://www.pref.aichi.jp/bousai/

▶ 逃げなきゃコール

離れた場所に暮らす高齢者等の家族に危険が差し迫った時、家族が直接電話をかけて避難行動を呼びかけることができるサービスです。

http://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html

▶ キキクル（気象庁）

https://www.jma.go.jp/bosai/risk

▶ 知多市防災カメラ

https://bousaicamera.city.chita.lg.jp/

### 電話での登録・確認は

● NTT災害用伝言ダイヤル(171)利用方法

171 にダイヤル
171をダイヤルすると、音声による利用ガイダンスが流れます

録音は 1 をダイヤル
再生は 2 をダイヤル

(0562)-○○-××××
(0569)-○○-××××
（固定電話の場合、市外局番からダイヤル）

東災用方式：ご自宅の電話番号または、連絡をとりたい被災地の方の電話番号
東災他以外の方式：連絡をとりたい被災地のご自宅電話番号

伝言の録音ができます。
伝言の再生ができます

録音のポイント
- 氏名
- 健康状態
- 家族の安否
- 避難場所

### インターネットでの登録・確認は

● 災害用伝言版(WEB171)利用方法

WEB171 https://www.web171.jp

「NTT災害用伝言ダイヤル171」が体験できます
いざというときのために災害伝言ダイヤルの使い方を体験して、事前に利用方法を覚えておきましょう
災害伝言ダイヤル171 https://www.ntt-west.co.jp/dengon/taiken/

## 避難の心得

### 安全な避難経路の確認

避難所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

### 動きやすい服装と集団での避難

事故防止等のため、動きやすい服装を心がけ、家族や隣近所と声をかけ合って避難しましょう。

### 避難する前に

ガス等の元栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。荷物は最低限にし、近所の人に行先を伝えましょう家族が不在の時には、連絡先などのメモを残し、戸締りをして家を出ましょう。

### 正確な情報収集と早めの避難

市からの広報やテレビ・ラジオ・インターネット等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら夜間を避け、早めに避難しましょう。

### 氾濫水は勢いが強く、濁っている

洪水による氾濫水は勢いが強く、濁っています。人でも歩くのが困難です。水路と道路の境や、フタが開いているマンホールに気づくことができず危険です。やむを得ず水の中を移動する時は、棒などで足下を確認しましょう。

### 車での避難の危険性

水深が30cm以上で車の走行は困難となり、50cm以上では車が浮いたり、水圧でドアが開かず車内に閉じ込められたりする危険性があります。（車中にハンマーを用意しておきましょう）また、多くの人が車で避難をすると、渋滞が発生し、緊急車両の通行を妨げてしまいます。

### 避難が遅れた場合の緊急対応

雨風が強まっていたり、水深がひざの高さまであると、大人でも歩くことが困難で危険です。予定していた避難所等へ避難ができない場合、近くの丈夫な建物や自宅の上階などへ移動して、その時できる最善の行動をしましょう。

### 避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときには、市や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難行動をとってください。

### 危険な場所に近づかない

河川の様子を見に行ったり、増水した川や橋に近づかないようにしましょう。

### 避難訓練

避難訓練には積極的に参加しましょう。
地区などで避難訓練を企画・実施される場合には、知多市のホームページに防災訓練項目のメニューが掲載されていますので活用ください。